

KAGAWAアンバサダー特別企画 小林純子さん講演会 「チャイナ・ルール」

日時：平成28年7月10日（日）13:00～14:47

場所：アイパル香川3階 第6会議室

主催：香川県知事公室国際課、公益財団法人香川県国際交流協会

概要：（チラシの紹介より）

- ・中国に対してどのようなイメージを持っていますか？
- ・中国在住歴10年の小林さんが、文化・習慣の違いに戸惑いながら現地生活の中で気が付いた中国人独特の考え方や習慣、「チャイナ・ルール」。一見理解できないと思われるような言動の裏にある理由を理解することは、誤解や思い込みを避け、効果的なコミュニケーションを行うのに役立ちます。
- ・今回の講座では、小林さん自身の体験に基づいて、具体的なエピソードも交えながら「チャイナ・ルール」を楽しくご紹介いただきます。

内容：

13:00～13:04 開会 香川県国際課 石川

- ・KAGAWAアンバサダーとは、香川県にゆかりがあって、海外で活躍している人を、香川県の大使として任命。現在30名が活躍。
- ・2015年に認定された小林さんに、「チャイナ・ルール」と題してお話しいただく。
- ・本日撮影した写真を広報、ホームページで使用する場合があります。支障がある方は申し出てください。

○小林さんのプロフィール

- ・丸亀市出身、今は上海在住
- ・スポーツ大会の企画、マネージメントなど
- ・中国に進出を希望する日本の飲食会社のサポートを行っている。
- ・著書に「チャイナ・ルール」（双葉新書）がある。

13:04～14:03 等身大の中国／上海

○講演者：小林純子 中華人民共和国・上海在住 KAGAWAアンバサダー

○プロフィール

- ・1972年6月生まれの44歳
- ・善通寺第一高校、東京女子体育大学を卒業、テレビ制作会社に。
- ・今は上海にすんでいる。

○日本での仕事

- ・卓球大会のスポンサーを募集、企画、選手の密着取材 など
- ・福原愛、川口愛のコラボ スポーツ選手と音楽をコラボするような仕事

KAGAWA アンバサダー特別企画
小林 純子さん 講演会

「チャイナ・ルール」を理解して、中国人との交流やビジネスに役立てませんか？

～講演会テーマ～
「チャイナ・ルール」

中国に対してどのようなイメージを持っていますか？
中国在住歴10年の小林さんが、文化・習慣の違いに戸惑いながら現地生活の中で気が付いた中国人独特の考え方や習慣、「チャイナ・ルール」。一見理解できないと思われるような言動の裏にある理由を理解することは、誤解や思い込みを避け、効果的なコミュニケーションを行うのに役立ちます。
今回の講座では、小林さん自身の体験に基づいて、具体的なエピソードも交えながら「チャイナ・ルール」を楽しくご紹介いただきます！

ご講演者
小林 純子さん
KAGAWA アンバサダー
中華人民共和国・上海在住

中国の赤ちゃんと赤紙も
出ます！

日時：2016年7月10日（日）
13:00～14:30

場所：アイパル香川 第6会議室

参加費：300円（アイパル賛助会員 200円）
※お菓子・お茶代を含む

定員：30名 ※先着順

申込方法：裏面の申込書にご記入の上、Fax 又は
E-mail での申し込み下さい。

申込締切：2016年7月6日（水）

◆お申込み・お問合せ先
香川県知事公室国際課 石川
TEL: 087-832-3028 FAX: 087-837-4289 E-mail: kokusai@pref.kagawa.lg.jp

主催：香川県知事公室国際課、公益財団法人香川県国際交流協会

○中国での仕事

- ・日本語授業、スポンサーの募集、大会の運営、オリンピックのような企業と選手のマッチングの仕事 など
- ・東日本大震災の時に海外にいて何も出来ない自分のがっかり。海外からも影響できるように外食業界の仕事に転換。
- ・2004年から、中国で22店舗の出店 反日運動や事件で無くなった店もあり、今は1店舗の運営 弁当屋、どら焼き屋、大将、レストラン など

○中国の飲食は変わってきている

- ・昨年、飲食の規制が厳しくなった。
- ・日本のマスコミで放送されたような状況ではなくなっている。

○Laboratory

- ・出店したお店に食材やメニューを提供
- ・中国の好みや味付けを知っていないと、提供、サービスできない。
- ・日本食を押しつけるのではなく、癒合し、上海の人の好きな食べ物に落とし込んでいく。

○ときどき記事を書いています

- ・人前で話すのは苦手。情報発信は好きで、記事を書いています。
- ・3年前に書いた「チャイナ・ルール」 7月7日、中国の本の分野でアマゾン第一位に

○チャイナ・ルール

- ・ゆるい本です。なぜ、中国の人と分かり合えないのか、学生さんや両親に呼んでもらいたく、身近な人へのメッセージとして書いた本です。

○自己紹介

- ・自分の仕事を聞かれたときに、どう答えればいいのか迷っていたが、最近言い言葉に出会えた。「エバンジェリスト（伝道師）」
- ・物事をわかりやすく伝え広げていく人のことを「エバンジェリスト」と呼ぶ
- ・4つのキーワードをもとに、広めていきたい。「香川県」「スポーツ」「中国」「食」

○みなさんは、中国についてどう思っていますか

- ・13億人のマーケット、だまされる、自分勝手、マナーが悪い、声大きい、倫理観に欠ける、スタイルがいい、爆買い、・・・

◇フロアから：「法治国家」ではなく「人治国家」 → 勝手にルールを変えていく

- ・商売をするには、3年前の資料でも情報やルールがもう古い。
- ・銀行でも担当者によってコロコロ言うことが変わる。

◇フロアから：踏み込んで話しをしたり、親しくなると、家族同様につきあってくれる。

- ・縁が生まれると、家族以上の扱いをしてくれ、困っていたら、自分の財産を出してでもという人もいる。

- ・ 10年前：暑い時期は裸でビールを飲み、地面に習字 など
- ・ 今：シャネル、raizap、加圧トレーニング、シミュレーションゴルフ など
- ・ 2008年の北京オリンピック以降、中国のトイレはきれいになった。
- ・ 中国は、トイレの脇にゴミ箱があり、用を足したものをそのゴミ箱に入れるのが普通。落とし紙をトイレに流してよいような下水道の構造になっておらず、紙の質も水に溶けるものではないため。

○物価比較

	日本	中国（上海）		
地下鉄初乗り	160円	3元	54円	← 中国が安い
タクシー初乗り	710円	13元	252円	← 中国が安い
ビッグマック	310円	17元	306円	← 同じぐらい
スタバ ラテ	320円	30元	540円	← 中国が高い

○中国のネットの世界

- ・ 中国はすぐに技術を盗んできて、商品化してしまう。

◇We Chat

無料・動画通話

文字・音声チャット

マイウォレット、電子マネー、公共料金の支払いや送金

○海外に住んで思うこと

◇メディア・リテラシー

- ・ いろいろなメディアから流れてくる情報を使いこなす能力のこと。
井の中の蛙大海を知らず：自分の世界の中だけの常識に捕らわれている
茹で蛙：水からゆっくり茹でていくと、そのことに気づかず茹であがって死んでしまう
- ・ 何か新しいことを始めようとすると大変なので、「まあ、このままでもいいかなあ」と思うようなことが・・・
- ・ 大海を知るということは、自分の存在意義を分けるために重要なことではないか
- ・ 知りたくなくても大量な情報が入ってくる ワイドショーの不倫ネタとか
本当に欲しい情報は、テレビでは見なくなってきているのでは

○検索は何を使いますか

- ・ 若者100人を対象にアンケート調査

Yahoo	12%
Google	33%
Twitter	31%
Instagram	24%

- ・ 最近の若者は、最新の情報を知りたくて、信頼のおける人や周りの人のことを知りたくて、GoogleやYahooよりも、TwitterやInstagramを使うようになっている。

○国民のマスコミ鵜呑み度

	2000年	2005年
日本	70.2%	72.5%
韓国	64.9%	61.7%
中国	64.3%	58.4%
オランダ	55.7%	31.7%
ドイツ	35.6%	28.6%

- ・鵜呑み度が増えているのは日本だけ。自分で情報を吟味しようとする努力が減ってきているのでは。
- ・外国では、自分で情報発信できることを活用している
- ・国の統治が厳しい中国でも、子供の教育が変わってきているからではないか
- ・NN24を立ち上げてきた自分は、テレビを鵜呑みにする日本は危ない。
- ・せめて、自分が好きなことは自分から情報を取りに行くことに心がけて。受け身ではなく、積極的に、友達と話したり、多種多様な意見を聞いて、思考を動かし、自分と違う意見を大切にしたい。そのため、世代や立場の違う人と話すこと。話すとは、考えないと話せず、この工程が大切。
- ・鵜呑みにしない意識を持って。

○報道ではわからない中国

- ・日本料理屋にもものを投げつけたり、日本国旗が燃やされたり、日本製品が壊されたり
- ・その翌週に卓球の試合取材に行く予定で、怖かったが、日本人と思われないように汚い格好で日本語を話さないで1週間取材。
- ・中国人に襲われた料理屋さんは、翌日から営業した。現地に行ってみないと気づけないこと。
- ・テレビって、非常にひどい一部しか写さないということを知った。

○「日本 ≒ 標準／平均」ではない

- ・海外に3～4年住んでみて、分かった。
- ・「異国 = 文化が違う」 教育も風土も違うことを受け止める

○日本人

- ・日本：相手の気持ちになって考える ← 相手の気持ちが本当に分かっているわけではない
- ・日本人の傾向：相手の気持ちになった気になっていることが多い

○相手の気持ちを考える

- ・相手の気持ちを考える → 自分と違うものを認めにくい
- ・北海道での事件：コンビニで彼女がアイスレジでの支払い前に食べていて、レジの人が注意したことに、彼氏が怒って店員を殴った
中国では、レジ前に食べることに悪気はない。店員の言葉がわからず、注意されているとは思わず、彼女を守ろうと彼はしたのかもしれない。

○チャイナ・ルール

◇中国人はなぜ声が大きいのか？

- ・ しせん 発音のせい、抑揚をつけるために大きく発声する。
- ・ 周りが大きい声なので、自分も大きな声を出す。
- ・ 中国人は、自分が大きな声を出していると思っていない。

◇中国人は生きる力がたくましい

◇忘れ物は誰のものでもない

- ・ 私は、コンビニにパソコンを置き忘れ、無くなったことがある。監視カメラの映像から、店員が持っていったことがわかった。
- ・ 店員が忘れ物なので、自分の家に持ち帰り、中国語仕様に変えようとして止まっていた。
- ・ 私は、現物がかえってくるだけでいいと思ったら、「今後、パソコンが故障しても、その損害を請求しない」旨の誓約書を書かされた。盗まれた被害者なのに、損害を請求しない旨の誓約書を書かされた。

◇根に持たない中国人

- ・ 電気屋で、携帯と1000円を渡してチャージをお願いしたが、携帯を家に持ち帰ってみると、チャージされていなかった。
- ・ 中国語が下手だったので、「チャージして欲しい」と店員は分からず、お金だけもらった。
- ・ 何ら、悪びれもせず、そのお店に買い物に行っても、何も気にしていない。

- ・ タクシーに乗り、さっきまで遠回りをしてもうけようとしていたタクシーの運転手が、別れ際には「また乗れよ」と、根に持っていない。

◇日本とは違う家族関係

- ・ 出稼ぎの社会で、おじいちゃんやおばあちゃんが子供の面倒を見ている。
- ・ 家族ぐるみでもてなす文化。
- ・ ビジネスでも 自分の家には家族がいるので、あなたも家族を連れてきなさいと

◇ご縁を大切に作る中国人

◇中国人は自分好き

◇贈り物は見栄えの良い派手なものが良い

14:03~14:45 中国茶と中国のお菓子で団欒

○中国のお菓子

- ・ 60人分のお菓子、重量6キロ 安い飛行機で15キロが重量制限のうち、6キロは今日のお菓子。
- ・ 中国に、おいしいお菓子はない！？ 指定された予算で買えるお菓子です。

○子どもの姓名について

- 女性①Q：一人っ子政策 夫婦別姓の時、子供の姓はどうなるのか。ある年齢になると選べるのか。
A：お父さんの方の姓になるのでは。

○約束をドタキャン

男性①Q：日本語のボランティアで、中国で3ヶ月生活した経験がある。平気で約束をドタキャンする。そのような経験をしたことは。

A：大企業で重要な会議でも、キャンセルやポジションの低い方に相手が変わったり。理由を聞くと「子供が熱を出した」とか、前日の懇親会でメンツをつぶされたとか・・・

男性①C：理由を聞いても、「何もないよ」との答え。

○漢字のみよう

男性②Q：日本も中国も漢字の国で、漢字の違いでおもしろい話しを。「手紙」がトイレトペーパー、「愛人」が妻、「談判」が商談とか

A：「愛人（あいれん）」が妻のこと。「じょうにん（ちんれい）」が愛人 中国も、接待や愛人も厳しくなっている。

○日本人への対応

男性③Q：3年ほど前に満州に交流で行った。日本人だと分かたら、ハイウェイや店で不売にあった。土産物やチョコバーを売ってくれなかった。そのようなことが残っているのか。

A：私はそういうことに遭っていない。基本的に東北の人は親切に対応してくれた。「買いたい」というのが「ちょうだい」と勘違いされたと思ったら、気が楽では。

○食料品について

女性②Q：腐った食べ物を混ぜる画像がマスコミで流れ、食糧事情や水がひどいという話を聞いており、食生活についてコメントを。

A：日本のマスコミで流れているのはそういう情報だが、**中国では今は厳しい管理**をしており、うちの食品工場にもカメラが入った。インターネットのクラウドにあげて、常時監視体制になっている。工場の職員がやるケース、ねつ造も多く。中国は日々ルールが変わっていく社会で、マスコミの人は中国のルールの変更を知らずに、インターネットのおもしろい画像だけで番組を作っているところがあるのでは。

○中国の通販事情、商売について

女性③Q：中国は広いので、インターネット通販で買い物するのが多いと聞く。今は普通ですか。

A：主流です。昔は、住所を書いても荷物が届かないことが多かったが、今は日本と同じ、日本以上に通販が使われている。

女性③Q：メイドインジャパンなら安心して買ってもらえるのか。

A：日本のモノだから必ず売れるわけではない。日本のブランドが中国で知られておらず、ブランド力はそうない。中国に入ってはいけないモノや、商標の管理、中国の状況を分かった上で、準備して商売を。

○中国人は

女性④Q：13億人の中国人。そのうちネットを駆使し、情報を利用しているのは、どれほどの人たちなのか。

A：農村から来る若者に日本語を教えていたが、中国語すら読めない子がいるのは事実。しかし、どの地域でも、携帯を持ち、Wifiが飛んでいる。スマホを持つステータスもメンツになり、日本より普及している。

・笑顔で接待を教えようとする、「笑顔にする理由が分からない」と。

- ・日本語を覚えることで給料が上がる、ステップアップすることが分かると、真剣にやる。お金を稼ぐ力は強い。

○中国人の親切さはどこに

女性⑤Q：1984年頃 タクシーに乗りお釣りを渡そうとしても、きっちりとお釣りを渡そうとする。レストランでチップとして小銭をテーブルに置いておくと、「忘れている」と追いかけてきてくれる。そのような状況が、この数十年でどう変わってきているのか。

A：なぜかを考える必要はないと思っている。あなたが親切な人なので、相手も親切に接してくれている。私もだまされたと思うとき、自分にも原因があると思う。フレッシュな気持ちで触れられることを。

○メディア・リテラシー

男性④Q：新聞やニュースでみた感想。SNSで外国のニュースも見られる。統制が出てくるのか。イギリスでは、5段階ほどに分けて「メディア・リテラシー」を教育している。インターネットで右よりから左よりまでの情報を調べることが出来、日本でも可能。日本のメディアはおもしろくない。良い番組は夜しかやっていない。

A：政治の話は大勢の前では話さないことにしているので、あとで個人的に。インターネットは普及しているが、日本のようにGmail、Twitterは中国では見られない。有料のVPNを経由して、国外のサーバー経由で海外のサイトを見ることが出来る。検閲をかいくぐるような人は海外の情報を見れている。

○反面教師 日本人が気をつけることは

男性⑤Q：反面教師として 日本人が良かれと思ってしていることで、中国から見ると迷惑なことになっていることはないか。例えば、「タイでは子どもの頭をなでることは、神聖な頭を汚すことになる」といったような

A：例えば、暑いときにラーメン屋に入ると、氷の入っている冷たい水が出てくる。中国の人には、氷のない水、温かいお湯を出してあげると喜ばれます。

○最後に

- ・中国について調べてみよう、中国に行ってみようと思っていただけたらうれしい。
- ・日本のために何かしようと思っている人はいっぱいいる。
- ・12月10日 上海和協会
- ・上海 片道999円 燃料サーチャージを入れても往復1万円で行けます。国内旅行よりも安い。

14:45~14:47 アイパル香川よりお知らせ

- ・リオオリンピック記念特別企画：7月23日（土）、8月27日（土）10時～12時
- ・シニアのためのアイパル国際カレッジ：9月2日（金）～11月18日（金）毎週金曜日10時～12時 どの年代の方でも楽しめる内容です
- ・アイパル外国語講座特別編：初級、中級 8月23日（火）～26日（金）10時～12時 5人の講師で英語クラスを開講 映画で学んだり、発音を学んだり